

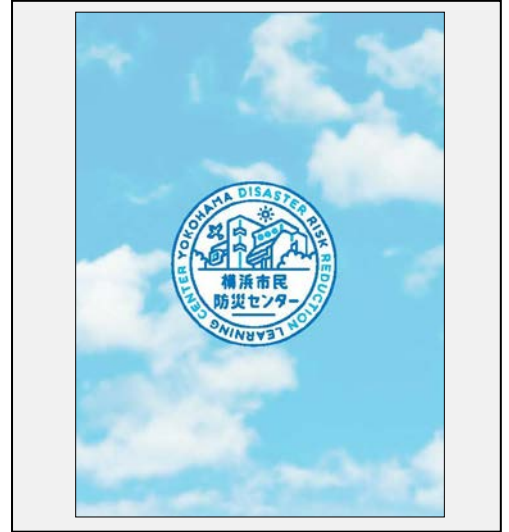
広告募集案内【定価制】 (印刷物広告掲載仕様書)

横浜市民防災センター学習ノートに広告を掲載する事業者を以下のとおり募集します。

■対象印刷物

名 称	横浜市民防災センター学習ノート	
内 容	来場者に配布する学習ノート。体験ツアー時のメモ帳としての用途及び災害時の行動が記載されている冊子。	
規格	判 型	A5判
	ページ数	20ページ
発行部数	6万部	
発行頻度	年1回作成	
発行予定	令和3年4月1日	
配布期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日 (なくなり次第配付終了)	
配布方法 (対象者・場所等)	市民防災センターの来場者に手渡して配布	
備 考	学習ノートのデザインは別添資料を参照	

▼表紙画像：前回（令和元年9月）発行分



■広告内容

掲載場所	スペース（縦×横）	枠数	色数	広告料（1枠、税込）
P4 下段	30mm×70mm	4枠	フルカラー	3万円 ※複数枠購入による割引あり 4枠：総額から5%オフ 6枠：総額から7.5%オフ 8枠：総額から10%オフ 10枠：総額から12.5%オフ 12枠：総額から15%オフ
P6 下段	30mm×70mm	2枠		
P8 下段	30mm×70mm	4枠		
P10 下段	30mm×70mm	4枠		
P12 下段	30mm×70mm	4枠		
P14 下段	30mm×70mm	8枠		
P16 下段	30mm×70mm	6枠		
P18(裏表紙裏)	30mm×70mm	12枠		

※ 広告料には広告代理店手数料を含みます。

■広告掲載に関する条件

横浜市広告掲載要綱、横浜市広告掲載基準その他の広告関連規程を遵守してください。

■原稿の制作等

初稿入稿締切	令和2年12月11日（金）
最終入稿締切	令和2年12月25日（金）

※ 広告料には制作費（版下・デザイン）は含んでおりません。完全データにて入稿してください。

（データ形式：イラストレーター、文字はアウトライン化）

※ 初稿入稿締切までに初稿を提出し、原稿内容の審査を受けてください。

広告掲載基準等に基づき、広告内容等の修正をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 最終入稿締切までに審査が完了した原稿を提出してください。

※ 入稿時には出力見本を添えてください。

※ 入稿締切までに原稿をご提出いただけない場合には、広告を掲載できないこととなりますが、その場合であっても広告料はお支払い頂きますのでご注意ください。

■申込み

申 込 条 件	<p>広告代理店のほか、広告主自らの申込みも可能です。</p> <p>※お申し込み時に広告主が決定していない場合は、決定後速やかに広告主の審査を受けてください。</p>
申 込 方 法	<p>申込書（別紙）をEメール又はFAX等で下記申込先へ送付してください。</p> <p>※複数枠のお申込みも可能です。</p>
事業者選定方法	<p>先着順</p> <p>※1日単位とし、毎日17時15分で締めきります。同日に受けたお申込は同順位として取扱います。上記時間を過ぎてのお申込は次の日の受付となります。（休庁日前日の17時15分を過ぎたお申込及び、休庁日のお申込は翌開庁日分として取り扱います。）</p> <p>※掲載場所内における枠の配置については横浜市が決定します。</p> <p>※同日内に複数件のお申込があった掲載場所は、横浜市が抽選を行い、決定します。抽選に外れた場合、申込書の「抽選に外れた場合、空き枠（掲載場所）に申込みます。」にチェックをされている事業者については、同日内にある空き枠（掲載場所）へのお申込みとします。抽選に外れた事業者が複数いらした場合は、空き枠（掲載場所）への割り当ては、横浜市で抽選を行い、決定します。</p>
募 集 開 始 日	令和2年9月10日（木）
申 込 期 間	令和2年9月10日（木）～令和2年11月30日（月）
申 込 先	<p>（担当課名）横浜市消防局横浜市民防災センター</p> <p>（所在地）〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-7</p> <p>（TEL/FAX）TEL 045-312-0119 / FAX 045-312-0386</p> <p>（Eメール）sy-kengaku@city.yokohama.jp</p>

広告掲載申込書（印刷物：先着順）

横浜市長

以下のとおり申し込みます。

申 込 者	所在地	〒 -		
	ふりがな 名称			
	代表者職名・氏名			
	担当者	部署名		
		ふりがな 氏名		
	連絡先	TEL/FAX	TEL	/ FAX
		Eメール		
業種・事業内容				
ホームページ URL				
※「広告主」の欄は、申込者と異なる場合で決定済みの場合のみ記入してください。				
広 告 主	所在地	〒 -		
	ふりがな 名称			
	業種・事業内容			
	ホームページ URL			
申 込 内 容	募集対象事業名称	学習ノート		
	広告内容			
	掲載場所 ※希望する箇所に申し込み 枠数を記入してください。	P4__枠 P6__枠 P8__枠 P10__枠 P12__枠 P14__枠 P16__枠 P18__枠 <input type="checkbox"/> 抽選に外れた場合、空き枠（掲載場所）に申し込みます。		
	個人情報の収集	有・無 ⇒有の場合（該当するものにチェックしてください） <input type="checkbox"/> 名前 <input type="checkbox"/> 住所 <input type="checkbox"/> 電話番号 <input type="checkbox"/> E-mail <input type="checkbox"/> 年齢 <input type="checkbox"/> 性別 <input type="checkbox"/> その他（ ） ●収集対象（「例：「中学生以下」「65歳以上」） ●収集規模（「例：アンケート配布数 ○部」）		
契約事項	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市 of 広告関連規程を遵守します。 ・横浜市暴力団排除条例 第2条第2号から第5号に定められた者に該当しません。また、誓約事項に反しないことを確認するため、横浜市から役員名簿等の提出を求められたときは、速やかに提出し、横浜市が本誓約書及び該当役員名簿等を、神奈川県警察に提供することに同意します。 ・横浜市税の滞納はありません。横浜市が申込者及び広告主の市税納付状況調査を行うことに同意します。 ・申込者が広告代理店である場合、広告主に対して横浜市が定める広告料を超える金額で販売しません。 ・誓約事項と相違する事項が判明した場合、又は当該誓約事項に反した場合に、契約の相手方としないこと、契約解除を行うこと等、横浜市が行う契約に係る一切の措置について、異議の申立てを行いません。 			

※ ご記入いただいた E メールアドレス宛に横浜市広告情報メールマガジン（広告媒体に関するお知らせ）の配信を希望されますか。（希望する ・ 希望しない ・ 登録済）

横浜市民防災センター学習ノート
編集 横浜市民防災センター発行
令和 3年4月



名前
Name



災害に強くなろう。 For stronger disaster prevention

いつグラツとくるのかもわからない地震。
ちょっとした不注意で起きてしまう火事。
台風や竜巻、火山の噴火など、わたしたちのくらしの周りには、
自然が引き起こす災害がたくさんあります。
そんな突然おそってくる自然災害を、知っているのと知らないの
では大違い！
横浜市民防災センターで、いろいろな災害をあらかじめ知って体
験しておくことで、万一の時に落ち着いて行動できるようになり
ましょう。

An earthquake can happen at any time.
Just a small oversight can start a fire.
Typhoons, tornadoes, and volcanic eruptions are among the
many natural disasters that occur in the world around us.
There is a huge difference between being prepared and not
being prepared when a natural disaster suddenly strikes!
At the Yokohama Disaster Risk Reduction Learning Center
you can learn and experience all kinds of things about
natural disasters before they happen and be prepared to
calmly take action should one occur.

BO
SAI
CAFE



1F

エントランス
ホール
Entrance Hall

防災のいろいろを
調べてみよう、試してみよう
6 防災ライブラリー
Research and explore various
disaster prevention topics
Disaster Prevention
Library

2F

何が起こるか分からない
3 減災トレーニングルーム
We don't know what might happen!
Disaster Mitigation
Training Room

火事だ火を消せ！
煙につかまるな！
4 火災シミュレーター
Fire! Put it out!
Don't get trapped by smoke!
Fire Simulator

住んでいる所には
どんな危険が？
5 横浜ハザードマップ
What are the risks where you live?
Yokohama Hazard Map

過去の地震や未来の地震の
ゆれを体験しよう
2 地震シミュレーター
Experience the vibration of
past and future earthquakes
Earthquake
Simulator

いま横浜市を
大地震がおそったら
1 災害シアター
What would happen if an earthquake
struck Yokohama today?
Disaster Education
Theater

共助エリア
お互いに助け合う「共助」のための
体験などが行えます。
7 Mutual Assistance Area
Experience various "mutual assistance"
activities for helping each other.

専門エリア
研修室で講習や講座、演習が行え
ます。
8 Specialized Training Area
The Training Room hosts training,
lectures, classes, and other activities.

この冊子は、各コーナーの紹介と皆さんに覚えておいてほしいことを記載しています。
ぜひ、この冊子を大切に持ち帰って、ここでの体験や学んだことを、忘れずにしっかりと自分のものにしてください。
This pamphlet introduces each corner of the Center and includes things that we want you to remember.
Be sure to keep this pamphlet and be sure to always remember the things that you experience and learn at the Center.

1 災害シアター 1 Disaster Education Theater



- 関東地方は200～300年周期でマグニチュード8.2クラスの地震に繰り返し襲われてきた。
- そして数度に一度の割合でマグニチュード8.5クラスの極めて大きな地震に遭遇してきた。
- 横浜市は、平坦な低地、丘陵地、埋め立て地、高層ビル、住宅密集地など、場所によってさまざまな特徴がある。
- 想定されている地震は、マグニチュード8.1、震度6。
- 横浜市の想定被害は、死者3,200人、負傷者20,000人以上。
倒壊家屋（全壊半壊含め）約130,000棟、焼失家屋約80,000棟。（元禄型関東地震の場合）
- 巨大地震によって、建物倒壊・ガラスや看板などの落下・液状化・土砂災害・停電・広範囲な火災・津波・浸水・断水・停電・都市ガスの停止・電話不通・道路寸断・崖の崩壊などさまざまな災害が起こる。
- An 8.2 magnitude level earthquake strikes the Kanto region every 200 to 300 years
- Moreover, once among every several events it is an extremely powerful earthquake in the 8.5 magnitude range.
- Yokohama includes places of various characteristics, such as flat lowlands, hills, reclaimed land, skyscrapers, and high-density residential areas.
- It is estimated that a major earthquake will be magnitude 8.1 and a 6 on the shindo, or seismic intensity, scale.
- An earthquake similar in magnitude to the 1703 Genroku earthquake will cause approximately 3200 fatalities and more than 20,000 injuries, approximately 130,000 completely and partially collapsed buildings, and burn around 80,000 buildings.
- A massive earthquake causes all kinds of disasters, including collapsed buildings, falling glass, billboards, and other objects, liquefaction, landslides, power failures, widespread fires, tsunamis, floods, water outages, utility gas outages, interrupted telecommunication services, severed transportation routes, and cliff failures.

災害シアターで見たシーンの中で一番こわかったことは何ですか？ その理由も考えよう。

Which scenes among those that you saw at Disaster Education Theater did you find the most frightening? Also think about why you think they are frightening.

メモ Notes

広告

防災お役立ちメモ

捨てずにとっておこう

新聞紙は防寒や紙食器、応急手当などに使える多機能グッズ。



2 地震シミュレーター 2 Earthquake Simulator



●体験できる地震の種類

- 震度体験 (震度3～震度7) ○居住・想定地震体験 (関東大震災・阪神淡路大震災・東日本大震災・横浜超定地震)
- 震度階体験 (低層・中・高層、超高層、歩道)

地震が発生したとき

- 自宅 ①近くにあるもので頭を守る。②丈夫な机やテーブルの下にもぐる。③ガラスの破片などに注意。④あわてて外に飛び出さない。⑤ドアや窓を開けて出口を確保する。
- 地下街 ①柱や壁ぎわでゆれがおさまるのを待つ。②停車してもあわてない。③火災が起きたら口と鼻をおおい、姿勢を低くして係員の指示に従う。④津波のおそれがあるときは、係員の誘導にしたがって地上に移動する。
- 車を運転中 ①ゆるやかにスピードを落とし、道路の左側に停車。②エンジンを切り、車内でラジオなどの情報収集。③車を離れるときはキーをつけたまま車を閉め、ドアロックはしない。
- エレベーターの中 ①全ての階のボタンを押して停止した階で降りる。②外との連絡をとる努力をする。③避難するときはエレベーターを使わない。
- 電車・バスの中 ①手すりやつり革にしっかりつかまる。②かばんなどで頭を守り、あしをふんばる。③勝手に行動せず、乗務員の指示に従う。
- 瓦礫地・山の近く ①落石に注意し、危険な場所から避難する。②余震でさらにくずれることがあるので、山や斜面、がけには近づかない。
- 屋外 ①ブロック壁や自動販売機など倒れやすいものから離れる。②かばんなどで頭を守り、ものが落ちてきそうな場所から離れる。③たれ下がっている電線やガスくさい場所には近づかない。④水がふるき出したり、地割れを起こしている場所には近づかない。

●Types of earthquakes that you can experience in the simulator

- Experience seismic intensity (shindo 3 to 7) ○ Experience past and anticipated future earthquakes (Great Kanto Earthquake, Kobe Earthquake, Tohoku Earthquake, expected future Yokohama earthquake) ○ Experience the seismic intensity scale by floor level (low, medium to high, very high, sidewalk)
- When an earthquake strikes
- At home: 1. Protect head with nearby objects, 2. Hide under a firm desk, table, or similar object, 3. Be careful of broken glass, etc., 4. Stay calm, do not run outdoors, 5. Open doors and windows and secure exits.

地震がきたときにはどんな行動をとるべきですか？

What do you need to do when an earthquake strikes?

メモ Notes

- Underground complex: 1. Wait next to a pillar or wall for shaking to stop, 2. Do not panic if there is a power failure, 3. In the event of fire, cover the mouth and nose, get close to the ground, and follow the instructions of the staff in charge, 4. In the event of a tsunami, follow the instruction of the staff in charge and move up to ground level.
- When driving: 1. Reduce speed, pull to the left side of the road, and stop the car, 2. Stop the engine and collect information from the car radio or other source, 3. If you need to exit the car, leave the key in the ignition, close windows, and leave doors unlocked.
- When in an elevator: 1. Press all floor buttons and exit on the floor on which the elevator stops, 2. Try to make contact with outside, 3. When evacuating, do not use elevators.
- When in a train or bus: 1. Firmly hold handles and straps, 2. Protect the head with a briefcase or something similar and firmly plant legs, 3. Do not move unnecessarily and follow the directions of the crew.
- When on hilly terrain or near mountains: 1. Watch for falling rocks and evacuate from dangerous areas, 2. Do not go near mountains, slopes, or cliffs.
- When outdoors: 1. Do not go near block fences, vending machines, or other objects likely to tip over, 2. Protect the head with a briefcase or something similar and escape from places where objects are about to fall, 3. Do not go near places with dangling power lines or places that smell of gas, 4. Do not go near places with gushing water or places with cracks in the ground.

広告



3 減災トレーニングルーム 3 Disaster Mitigation Training Room



地震が発生したとき

●家具や窓ガラスから離れる→床のガラスなどに注意→避難に備えてドアを開ける→火の元を確認→非常持出し袋を用意

停電したら

●懐中電灯などの灯りを確保→玄関から外へ出て、家の周りや近所の安全を確認

火事になったら

●火災の発生を知らせ、消火器で初期消火

大雨が近づいてきたとき

●外の様子を確認し、非常持出し袋など、避難の準備→水や食料の備蓄を確認→テレビやラジオで気象情報を収集

避難勧告が出たら

●すぐに避難

浸水したら

●2階に避難

がけ崩れがおこったら

●がけから離れ、避難

When an earthquake strikes

●Maintain distance from furniture and glass → Be careful of glass on the floor, etc. → Prepare evacuation and open doors → Check fire sources → Prepare emergency bag

If there is a power failure

●Secure flashlight and other lighting → Go outdoors from the entrance and check that the area around the home and the immediate area are safe

If there is a fire

●Notify that there is a fire and do initial extinguishing with a fire extinguisher

When a rainstorm is approaching

●Check outdoor conditions and prepare emergency bag and do other evacuation preparations → Check water and food supplies → Collect weather information from TV and radio

If an evacuation warning is issued

●Evacuate immediately

If there is flooding

●Evacuate to the second floor

If there are cliff failures

●Leave the cliff and evacuate

減災トレーニングルームの中で何を体験しましたか？
一番大切な行動はどんなことだったでしょう？

What did you learn from your experience in the Disaster Mitigation Training Room?
What are the most important actions to take during a disaster?

メモ Notes

広告

防災お役立ちメモ

食事以外にも使える

ラップはけがの応急手当や防寒などにも役に立つ。



4 火災シミュレーター 4 Fire Simulator

火災が起きたら

- 通報 「火事だ」と大きな声でさけび、119番。
- 初期消火 水や消火器で消火。
- 避難 火が天井までとどいたらすぐ避難。

消火器の使い方

- 安全ピンに指をかけ、上に引く
- ホースをはずしてノズルを火元に向ける
- レバーを強くにぎって消火剤を噴射。①火の風上にまわり、低く構える。②炎の熱や煙をさける。③火の根元を掃くようにかける。



If a fire occurs

- Notify: Shout "fire" in a large voice and dial 119.
- Do initial fire extinguishing: Extinguish with water and fire extinguisher.
- Evacuate: If the fire reaches the ceiling, evacuate immediately.

How to use a fire extinguisher

- Grab the safety pin with the fingers and pull upward
 - Lift the hose and point the nozzle at the fire source
 - Firmly squeeze the lever to eject extinguishing agent.
1. Move upwind of the fire and keep a low position.
 2. Avoid flames and smoke.
 3. Apply extinguishing agent in a sweeping motion to the root of the fire.

避難のポイント

- ①走らずおちついて。②煙を吸わないように鼻や口をおおう。③姿勢を低くして煙をさける。④大きな声を出したり、あわててさわがない。⑤むやみに動きまわらず、誘導灯や避難標識を破損。⑥防火戸や防火シャッターが作動してもあわてない。⑦降り場や曲がり角で止まらない。⑧視界が悪い場合は、床や壁に手を当て避難する。⑨床と壁や家具、階段の扉など新鮮な空気が残っていることがある。⑩一度避難したら、二度と建物の中へもどらない。⑪避難したら、逃げおくれた人の有無や、状況を消防隊に伝える。



Important points when evacuating

1. Do not run and remain calm.
2. Cover the nose and mouth so as not to inhale smoke.
3. Keep body low to the ground and avoid smoke.
4. Do not speak in a loud voice and do not make a commotion.
5. Do not wander around and verify guide lights and guide markers.
6. Remain calm even if fire doors, fire shutters, and other safety devices activate.
7. Do not stop at stairway landings or corners.
8. When the field of view is poor, put hands on the floor and walls and evacuate.
9. In some cases, fresh air remains around floors and walls, gaps between furniture and stairs, and similar places.
10. Once you have evacuated do not go back inside the building.
11. After you have evacuated, inform fire fighting authorities about the presence or absence and the condition of other people who were evacuated.

火災がおきたとき、まずなにをすべきでしょうか？

If a fire occurs, what should you do first?

メモ Notes

広告

防災お役立ちメモ

お子さんにおすすめ

避難先での子供の楽しみになる絵本やおもちゃ。非常持ち出し袋に用意しておこう。



5 横浜ハザードマップ 5 Yokohama Hazard Map



横浜市の特徴

- 丘陵地や台地は地盤が硬く、震災の影響を受けにくい、開発が進んで崖や丘陵地が多く、土砂災害が起こる危険性がある。
- 低地は地盤が軟弱で地盤沈下、液状化現象が起こりやすい。
- 埋立地は液状化現象が起こりやすく、津波の被害を受ける危険性がある。



Yokohama characteristics

- Hills and plateaus are hard ground that resist the effects of earthquakes, but development has increased the presence of cliffs and hilly areas, making landslides a danger.
- Lowlands are soft ground susceptible to ground sinking and liquefaction.
- Reclaimed land is susceptible to liquefaction and is at risk of tsunami damage.

メモ Notes

防災お役立ちメモ

30秒で話すこと

災害用伝言ダイヤル(171)の録音時間は30秒。



6 防災ライブラリー 6 Disaster Prevention Library



災害への備え

- 災害に強いまちづくり、家づくり●地域のコミュニティ強化
- 家の中の安全対策●食料・水などの備蓄
- いざという時使えるものの備蓄●非常時の連絡手段
- 徒歩帰宅のための備品●地域防災拠点の確認



災害発生時

- 命を守る行動●テレビ・ラジオなど様々なものから情報を収集

災害発生後

- 災害伝言サービス●トイレ●非常時の食事・飲み水

富士山の噴火、竜巻、地下施設への震災への対応

Disaster preparedness

- Disaster resistant city planning and home design ●Stronger local community
- Home safety measures ●Stock of food, water, and other provisions
- Stock of items for use during an emergency ●Means of communication during an emergency
- Equipment for walking home during an emergency
- Check location of local disaster prevention center

When a disaster strikes

- Life saving actions ●Gather information from TV, radio, and other sources

After a disaster strikes

- Disaster message service ●Toilets ●Emergency food and drinking water

Actions to take in the event of a Mount Fuji eruption, tornado, or earthquake in an underground facility

メモ Notes

広告

生命の懸かった真剣な学び「防災」と、気軽にくつろげる「カフェ」、そんなギャップのある二つがなぜか自然と交わっている場所。

7 共助エリア

Mutual Assistance Area



メモ Notes



BOSAI CAFE (防災カフェ)

生命の懸かった真剣な学び「防災」と、
気軽にくつろげる「カフェ」、そんな
ギャップのある2つが自然と交わって
いる場所。

BO
SAI
CAFE



いつかのために、
ただれかたであう。

広告

8 専門エリア

Specialized Training Area



メモ Notes



防災お役立ちメモ

食べるための備え

入れ歯の洗浄剤は非常持ち出し袋に入れておこう。

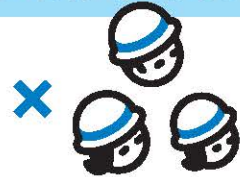
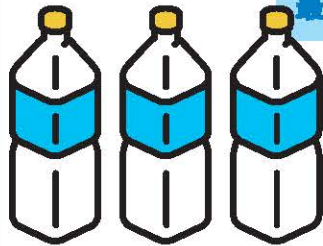


防災 information

水の備蓄

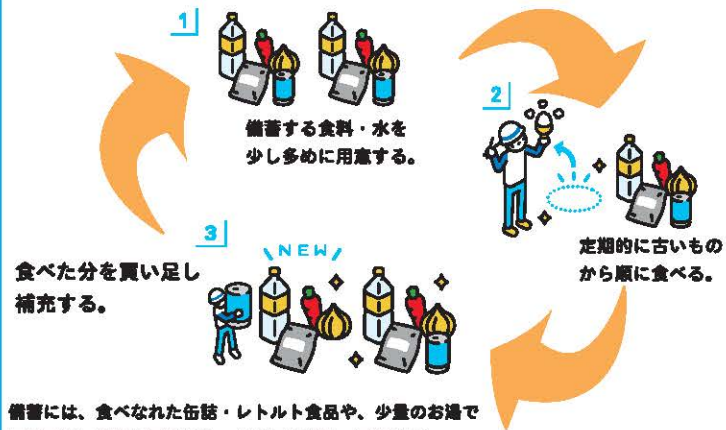
1人1日 **3** リットル

最低3日分で9リットル以上



1人1日3リットル、最低3日分、
できれば7日分を用意しておく。

ローリングストック法で備蓄



備蓄には、食べなれた缶詰・レトルト食品や、少量のお湯で元の風味・栄養に戻るフリーズドライ食品、不足するミネラル・食物繊維がとれる乾物などがオススメ。

携帯トイレの備蓄

▶ 選ぶコツ

3つの機能がポイント!



▶ 備えておく便利なトイレグッズ



▶ 備えておく災害用トイレの量

トイレ回数は1人1日5回で想定し、
家族7日以上備蓄しましょう。

1人1日 **5** 回 × **7** 日分 × **4** 人
家族の人数分 **140** 枚

※参考：節約型の備蓄量例

大瓶は1人1日1回、1回ごとにトイレを戻し、小瓶は1人1日4回、3回使用ごとに交換。家族4人で、大瓶用1瓶×4人×7日=28瓶、小瓶用4瓶×4人×7日+3=87瓶。

節約型 **65** 枚

広告

非常持ち出し袋の中身 check !

▶ 地震前防災訓練に行く場合に備え、「持ち出し袋」を用意しておきましょう。
これだけは備えておきたい 12 品目

水



非常食

(チョコ 飴など)



新聞紙



携帯トイレ



ポリ袋

(大、中、小各数枚ずつ)



革手袋



レインコート



大判ハンカチ



ラップ



ヘッドライト



救急セット



携帯ラジオ



家族で決めておく非常時の連絡手段

集合場所・避難場所 (近くの公園や小学校、広域避難場所など)

行先のメモを残す場所・方法 (玄関にガムテープでメモを残すなど)

災害時の連絡手段 (災害用伝言サービスなど)



広告
